

【ひだかプラン】「令和2年度日高管内教育推進の重点」の具現化

教科等横断的な視点を踏まえた単元の指導計画の作成



日高教育局では、各学校の教科等横断的な視点を踏まえた単元の指導計画の作成の参考にしていただくため、えりも町立えりも岬小学校の学校教育指導訪問の際、お伺いした内容を基にし、本資料を作成しました。

各学校の校内研修等において本資料を活用し、各教科等及び各学年が相互に関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにしてください。

令和2年度 えりも町立えりも岬小学校 グランドデザイン

学校教育目標			
たくましく	心豊かな	子どもの育成	
進んで学ぶ子	明るく助け合う子	最後までがんばる子	じょうぶで元気な子



目標とする資質・能力								
知識・技能			思考力・判断力・表現力			学びに向かう力・人間性		
①言語に関する正しい知識・技能 重点	②情報を活用する技能	③健康・安全・食に関する知識	④問題を発見し解決する力 重点	⑤よりよく伝えるための表現力	⑥豊かな創造性	⑦多様な考えを認め、尊重する態度 重点	⑧地域を愛し尊重する態度	⑨あきらめないうちでやりぬく態度

目標とする学校像	
①安心・安全できれいな学校	②笑顔あふれる学校

**ポイント①**  
学校で育成を目指す資質・能力の明確化

育成を目指す資質・能力を具体化することにより、横断的・総合的な学習のねらいを明確にすることができます。また、重点とする項目の共通理解にもつながります。

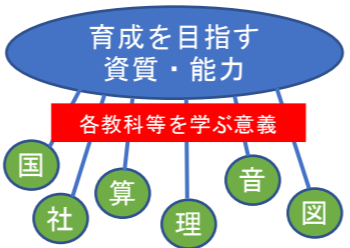
目標	
①自ら研修に励み、授業改善に取り組む教師	②子どもが主体的に学ぶ

※グランドデザインの一部を省略させていただいております。

教科等横断的な視点に立った資質・能力

教科等の枠組みを踏まえて育成を目指す資質・能力については、各教科等の章の目標や内容において、それぞれの教科等の特質を踏まえて整理されている。

これらの資質・能力の育成を目指すことが、各教科等を学ぶ意義につながるものであるが、指導に当たっては、教科等ごとの枠の中だけではなく、教育課程全体を通じて目指す教育目標の実現に向けた各教科等の位置付けを踏まえ、教科等横断的な視点をもってねらいを具現化したり、他の教科等における指導との関連付けを図りながら、幅広い学習や生活の場面で活用できる力を育むことを目指したりしていくことも重要となる。



小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編

〔えりも町立えりも岬小学校〕  
育成すべき資質・能力の重点を明確にした単元の指導計画の作成

取組の内容

昨年度から校内研修において、「資質・能力を育む主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり」を推進し、本校が目指す資質・能力の育成に取り組んできた。

今年度は、本校が育成を目指す資質・能力をより具体的に各教科等の単元や題材などの学習内容と関連付けることにより、児童が言語に関する正しい知識・技能を習得するとともに、問題を発見し解決する力を高められるよう、教育課程全体を通じて資質・能力を育成する。

単元全体	何ができるようになるか（育成を目指す資質・能力）			どのように学ぶか（授業改善の視点）					
	教科固有の視点（評価規準）			教科横断的視点					
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知①言語	思④問題解決	向⑦多様性	主体的	対話的	深い
1	図形の形や大きさが決まる要素や、図形の合同について理解し、合同な図形を作図することができる。また、三角形の3つの角の大きさの和が180°になることや、四角形や多角形の内角の和は三角形に分ければ求められることを理解している。	図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを説明することができる。	図形の合同、及び多角形の内角の和の性質について捉え検討してよりよいもの習したことを生活や学習に活用		○		A		
2	図形が「決まる」といえる、合同な三角形や四角形をかくことができる。	図形が「決まる」といえる、合同な三角形や四角形をかくことができる。	図形が「決まる」といえる、合同な三角形や四角形をかくことができる。	○			C		
3	図形の形や大きさが決まる要素や、図形の合同について、図形の合同に着目し、合同な三角形を作図することができる。	図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを説明することができる。	図形の合同、及び多角形の内角の和の性質について捉え検討してよりよいもの習したことを生活や学習に活用			○		D	
4	図形が「決まる」といえる、合同な三角形や四角形をかくことができる。	図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを説明することができる。	図形の合同、及び多角形の内角の和の性質について捉え検討してよりよいもの習したことを生活や学習に活用		○				E
5	図形が「決まる」といえる、合同な三角形や四角形をかくことができる。	図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを説明することができる。	図形の合同、及び多角形の内角の和の性質について捉え検討してよりよいもの習したことを生活や学習に活用	○					B
6	図形が「決まる」といえる、合同な三角形や四角形をかくことができる。	図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを説明することができる。	図形の合同、及び多角形の内角の和の性質について捉え検討してよりよいもの習したことを生活や学習に活用	○					E
7	図形が「決まる」といえる、合同な三角形や四角形をかくことができる。	図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを説明することができる。	図形の合同、及び多角形の内角の和の性質について捉え検討してよりよいもの習したことを生活や学習に活用	○					E
8	図形が「決まる」といえる、合同な三角形や四角形をかくことができる。	図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを説明することができる。	図形の合同、及び多角形の内角の和の性質について捉え検討してよりよいもの習したことを生活や学習に活用		○				F
9	図形が「決まる」といえる、合同な三角形や四角形をかくことができる。	図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを説明することができる。	図形の合同、及び多角形の内角の和の性質について捉え検討してよりよいもの習したことを生活や学習に活用			○			G
10	図形が「決まる」といえる、合同な三角形や四角形をかくことができる。	図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを説明することができる。	図形の合同、及び多角形の内角の和の性質について捉え検討してよりよいもの習したことを生活や学習に活用						G
11	図形が「決まる」といえる、合同な三角形や四角形をかくことができる。	図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成のしかたを説明することができる。	図形の合同、及び多角形の内角の和の性質について捉え検討してよりよいもの習したことを生活や学習に活用						G

**ポイント②**  
重点を踏まえた単元構想

教科等横断的な視点からの指導のねらいの具体化や、教科等間の指導の関連付けは、教科等の枠組みを越えた資質・能力の育成につながります。

**ポイント③**  
児童の学びの過程の構築

単元全体の中で、それぞれの授業がどのような位置付けにすると効果的か、授業のつながりを考え、学習活動のバランスを考えることが大切です。

**ポイント④**  
カリキュラム・マネジメントの充実

校内研修等で、「いつ」「どのように」評価して改善を図るかなど一連のPDCAサイクルを確立することが大切です。

**一層の充実に向けて**

学校の教育目標との関連を図りながら、指導計画の作成者相互で必要な連絡を適宜行い、学校全体として組織的に進めることが大切です。